

平成22年度 第2回三次市地域公共交通会議 会議録

平成22年9月8日(水)

14時00分～15時00分

みよしまちづくりセンター 第1会議室

開会

(事務局)

本年度 第2回三次市地域公共交通会議をご案内しましたところ、委員の皆さまには大変、お忙しい中、また、残暑厳しい中、ご出席をいただきありがとうございます。

ただいまから、開会させていただきます。

それでは、本会議の会長であります副市長のごあいさつをお願いします。

会長あいさつ

開会にあたりまして、一言ごあいさつさせていただきます。今年度、第2回目の三次市地域公共交通会議についてご案内を申し上げましたところ、委員の皆さまには公私とも大変お忙しい中、本会議にご出席いただき、ありがとうございます。

今年度も早いもので、6ヶ月が経過しようとしています。おかげをもちまして、地域公共交通関係について、順調に運営させていただいております。これも皆さま関係機関のご協力のおかげだと思っています。あらためてお礼を申し上げたいと思います。

昨年度、1年間をかけて地域の実情等調査した上で計画書をまとめ、よりよい地域交通体系ということで、時には見直し、さらには充実など色々と時間はある程度かかかりますが、地域と一緒に頑張ってご理解をいただきながら、取り組んでまいりたいと思っています。

また、市街地循環バスにつきましても、昨年度、地域の方とともに色々と検討してまいりました。今年度も昨日、分科会のメンバーである委員の方の出席もいただき、運行に際しての詳細なご協議も頂戴したところです。後ほど事務局から報告があろうかと思っています。

さらには、作木町で導入を計画しております自家用有償旅客運送につきましても、作木支所を含め地域の方との協議も何回か持たしていただき、前向きなご意見も頂戴しております。現在、ドライバーの候補者の選任などお願いしているところです。

経過もご報告申し上げながら開会のあいさつに代えさせていただきます。

本日も、限られた時間ではありますが、よろしく願いいたします。

連絡事項

(事務局)

それでは、会議に入る前に何点かご連絡いたします。

広島県地域政策課交通対策グループ主任に第1回に引き続き、代理出席をいただいております。

また、今回も西日本旅客鉄道株式会社広島支社から企画課長代理様にご参加いただく予定であります。

したが、どうしても抜けられない公務があるとのことで急遽欠席というご連絡を頂戴しています。

そして、本日の協議事項に関連し、株式会社中国バスからもご参加をいただく予定ですが、若干、遅れるとの連絡がありました。なお、社会福祉協議会の事務局長が他の公務と重なり、本日、欠席という旨、ご連絡をいただいております。

なお、本会議は原則公開としておりますので、報道関係者の傍聴、また、会議資料及び質疑応答などの会議録については、市のHP上で公開することになりますこと、ご了解いただきたいと思います。

また、「会議次第」であります。先日、開催案内に同封しました「次第」とは、協議内容を若干変更させていただいておりますのでご了承ください。

9月3日付けで「会議資料」とともにお送りした「次第」によって進めさせていただきます。

それでは、本会議は、要綱第7条の定めにより、会長が議長となりますので、これからの議事進行につきましては、会長をお願いいたします。

それでは、会長、よろしく願いいたします。

(会長)

委員の皆さまには、大変お忙しい中で出席を賜っておりますので、早速、会議に入らせていただきます。

なお、本日の会議は、概ね、3時半には終了したいと考えておりますのでご協力、よろしくお願いいたします。

それでは、次第の3 報告事項「平成22年度地域公共交通活性化・再生総合事業補助金の交付決定について」を事務局より説明願います。

報告事項

《平成22年度地域公共交通活性化・再生総合事業補助金の交付決定について》

(事務局)

「会議資料」の4ページ上段をご覧ください。昨年度、3月23日付けで申請しました「平成22年度の計画事業」について、6月10日付けで交付決定がなされました。

補助対象事業は、市街地循環便の実証運行に係る経費、その広報や検証に係る経費、市民バスの再生、市民タクシー制度の導入支援といった

12,892,259円に対し、その1/2相当額、6,443,000円となっています。

この補助額にあわせ、事業を実施しているところであります。

以上で簡単であります。説明を終わります。

(会長)

はい。事務局から補助金の交付決定について報告をいただきました。

本事業については、とても厳しい状況下、6,443,000円の予算付けのご配慮を頂戴いたしました。

運輸支局をはじめ関係機関の方にあらためて感謝申し上げます。どうもありがとうございました。これについてはよろしいですね。

それでは、続いて(2)の「平成22年度三次市地域公共交通総合連携計画事業調査等委託業務について」を事務局から説明願います。

《平成22年度三次市地域公共交通総合連携計画事業調査等委託業務について》

(事務局)

それでは、ご報告させていただきます。会議資料の同じく4ページをご覧ください。

前回の交通会議で補正予算をご提案させていただき、その中で該当の委託業務について、ご意見やご指導を頂戴したことを反映し、お示ししています内容をもって、昨年度に引き続き、株式会社地域未来研究所中国四国事務所と契約を締結しています。

業務内容については、会議資料にお示ししています。時間の関係上、詳しい部分は省略させていただきます。

委託額は、5,816,000円、委託期間は、6月14日から平成23年3月31日までとしております。

現在、後ほどのご説明させていただきますが、市街地循環バスの実証運行に向けて、広報ツールの作成等、作業いただいているところです。

以上、簡単ではありますが、説明を終わります。

(会長)

ありがとうございました。今の委託業務について、意見等ございますか。

無いようでありますし、時間の関係もございますので、次の報告事項に移ります。

それでは、事務局から説明願います。

《市街地循環バス活性化検討会議（分科会）の経過報告について》

(事務局)

会議資料の5ページであります。

「市街地循環バス活性化検討会議（分科会）の経過報告について」をご報告いたします。

8月5日に、この分科会をメンバー10名と事務局とで開催し、募集しておりました「愛称」・「車体ラッピングデザイン」について、審査をしたところであります。

募集方法としましては、市広報の6月号及びホームページ上に掲載するとともに、中国新聞でも取り上げていただき、応募総数154人、応募件数が180件。「愛称」が156件、「車体ラッピングデザイン」が147件と予想はるかに上回る応募を頂戴したところです。

審査結果であります、「愛称」として、「くるるん」に決定いたしました。

応募理由としては、「三次市街地を循環することを子ども達から高齢の方まで誰でも理解できるように“くるくる周るバス”や方言でもある「来る」と言う響き、さらには楽しい気分“ルンルン”という感じを組み合わせ、簡単で愛嬌のあるネーミングとされています。

分科会委員の方からも、この応募理由に多くの方が共感され、満場一致での決定となりました。

続いて、「車両ラッピングデザイン」ですが、147件の応募作品から、各委員1点の推薦をいただき、中でも、推薦の多かった2点について、協議・検討を重ねた結果、6ページの応募作品が選ば

れました。

選考の理由としては、市内で運行している車両は青若しくは緑色であり、市街地循環便は、それとは違って目立つ色であること。

三次市の花と樹を擬人化されており、かわいいキャラクターとして提案いただいていることにあわせて、三次市の特徴である川やそれに架かる巴橋等がデザインされていること。などでした。

応募作品の中には、鶉飼であったり、ピオーネ、そして三次ワインをテーマに応募されている作品も多くございましたが、観光的なイメージではいいのだが、今回の市民に親しまれる循環バスのコンセプトには少しマッチングしないとのことご意見も頂戴しているところです。

紙面上に掲載しているものは、本人の了解を得て、応募作品に若干の修正を行い、さらには、「愛称」である「くるるん」の文字を配置しています。

さらには、この作品から、「ロゴデザイン」も作成し、今後の広報でも、シンボルマーク的に利用していきたいと考えています。

続きまして「[会議資料](#)」の7ページ及び「[別紙資料1](#)」をご覧ください。

既にこの路線のルートについては、先般の交通会議等でご確認をいただいているところですが、後ほど詳しく説明いたしますが、ダイヤ編成を行ったところ、三次駅での待ち時間が少しくなりました。

あまり、駅で待機時間を設けるのも、他の交通機関の支障にもなりかねないということで、備北交通より、「[別紙資料1](#)」の路線図の右側、畠敷と塩迫バス停まで路線延長を提案いただき、分科会で協議・検討した結果、延長した部分の住民の方も市街地循環便が利用できるようになるなどの利便性の向上が図れるとの理由で、合意いただきました。

この内容については、8月6日付け「市街地循環バス活性化検討会議の協議合意事項について」委員の皆さまに通知させていただいております。

なお、畠敷線につきましても、現行の三次ウェーブ号の通勤ダイヤを活かし、畠敷地域の公共交通機関を確保しています。

10月1日からダイヤの充実し、かつ全ての便が中央病院に乗り入れるようになることから、利用しやすい路線となります。

この路線についても、市街地循環便と同様に、今後の利用状況等を調査してまいりたいと思っています。

時刻表ではありますが、「[別紙資料2](#)」の右部分をご覧ください。この路線は、三次駅前を起点とし、南畑敷方面と三次町方面へのルートがありますが、南畑敷方面へは、9時、10時、11時と1時間おきに、三次町方面には、9時30分、10時30分と1時間おきのパターンダイヤとなっています。

JR各線をご利用になり、三次駅でご乗車される場合、どのダイヤからも、あまりお待ちにならないで、この市街地循環バスに乗りいただける設定としています。

また、周辺からの路線バスからの連絡ではありますが、先ほどご説明しましたように30分きざみの出発となりますので、利用地域にもよりますが、上手く結節できていると思っています。中には到着前に出発するような便もありますので、その路線については、今後、運行事業者との協議により、他の利用も考慮しながら、この市街地循環バスにうまく結節できるよう調整を行っていきたく考えています。

[別紙資料3](#)をお願いします。畠敷線については、現行の出発時間を変更せず、引き続き出勤時に

ご利用いただけるように設定し、みよし公園から中央病院方面へ1日11便、中央病院から畠敷、みよし公園方面へ9便が運行するものとしています。

続きまして、運賃であります。市街地循環バスについては、現行の三次ウェブ号どおり200円としています。

畠敷線については、[別紙資料3](#)の左下に「運賃表」を作成しています。

この路線は、循環線、同一運賃から対キロ運賃に変更しています。今日、お配りした[別紙資料7](#)「みよしじゅんかんバス：ウェブ号」の運賃表と一緒にご覧下さい。

多くの方が、通勤でご利用になっておられることから、寺戸/県公社前から三次中央病院寄りは、現行とかわらず、それより遠方については、割安となっています。実際には、上四十貫から工業団地へ550円かかっていたものが、490円となります。

しかしながら、200円均一としている部分、畠敷地域から三次駅までの利用については、現行200円から、若干、割高となっています。これについては、路線の充実や、中央病院等の遠方利用は安くなることなどから、ご理解を頂戴できると認識しているところであります。

そして、今後の「周知・広報計画について」であります。が、[別紙資料4](#)になります。やはり、路線を再編するからには、多くの方に利用いただかないといけません。

資料のポスターの掲示以下、色々と周知・広報を行ってまいります。

先ほど説明した時刻表などを掲載したチラシは、市の広報9月と一緒に、市内全戸にお配りします。

ポスターについては、[別紙資料4](#)の2ページにありますように、この路線の開設を印象づけるよう、市内、特に市街地の商業施設やコミュニティセンター等に掲示していただくようにします。

バス停についても、この市街地循環バスが利用できる箇所については、(ヘッド)丸版の部分の今回一新します。

そして10月2日(土)に出発式を開催し、先ほどの「愛称」「車体ラッピングデザイン」の採用作品を表彰するなど、マスコミの方にもご協力いただき、路線の開設の啓発等を促していきたいと思っています。

また、この資料にはございませんが、先ほどの市街地循環バス活性化検討会議の中でご提案いただいたことで、チラシに「協力団体」として運行経路上にあります三次・十日市・八次の自治連合会の名称を記載しています。

分科会委員から、自分達の地域を走る公共交通なので、私達もぜひ協力をしたい。また、車の納車が間に合えば、各地域の女性会等のサークルの皆さんに体験乗車も考えてはとお話いただき、このことについても協力したいと、嬉しいご意見を頂戴しているところです。

また、これも車が間に合えばですが、9月23日祝日に広島市商工センター内で開催される「バスまつり」にこの車両を展示し、広報等したいと考えています。例年、2万人近い人出があり、大変人気のあるイベントとお聞きしています。

さらには、この路線開設を記念し、割引率50%、1000円で2000円分の乗車券が付いているプレミアム回数券を販売します。この乗車券は、この路線のみご利用いただけるものです。他の路線ではご利用いただけません。これは、通常、1000円で1100円、1割程度のプレミアムですが、今回は5割であることから、運賃に認可にも影響してきます。今回に限り、関係機関のご理解を頂戴し、販売するものです。

以上、簡単であります、「市街地循環バス活性化検討会議（分科会）の経過報告について」のご報告とします。

（会長）

事務局から、8月5日に開催された「市街地循環バス活性化検討会議（分科会）の経過報告について」をご報告いただきました。

分科会に参加されております委員のほうから何かありますか。

（委員）

分科会では3自治会からそれぞれ2名の住民が参加されていますが、とても熱心に協議頂いたのが印象に残りました。さらに自ら協力団体としての申し出もあり、今後、どのような形で協力できるか楽しみです。

畠敷線もこの度サービスが向上します。そのため、市街地循環バスと同様の手法で自治会の協力を得ながら活性化を図るのが良いと思いますがいかがでしょうか。

それとひとつ質問ですが、市街地循環バスでは、運行開始に合わせて記念回数券を発売することになっていますが、今後は、これより先の回数券などの販売を考えておられるのか。また沿線には高校が位置しているが、定期券では乗れないのでしょうか。

（事務局）

畠敷線についても、今後の運行状況をみながら、例えば自治会と協力するなどの活性化を図りたいと考えています。

（備北交通）

今回の記念回数券は定期券よりもの割引率が大きいので、定期券の導入は想定していません。また今後の回数券についても、他の一般路線で回数券がないため導入は考えておりません。

ただし、今後、利便性の向上に繋がるよりよいサービスがあれば検討していきたいと思っています。

（委員）

告知チラシの停留所名に誤りがある。福祉保健センターが正しいのでは。

（事務局）

チラシは市広報9月号と合わせて配布するよう準備しており、訂正は間に合いません。次号以降の市広報で訂正をしたいと思います。

（会長）

他に無いようでありますし、時間の関係もございますので、協議事項に入ります。

それでは、続いての報告事項の（4）「作木町自家用有償運送検討会議（ワーキング会議）の開催について」を報告願います。

《作木町自家用有償運送検討会議（ワーキング会議）の開催について》

（事務局）

会議資料の8ページをお開きください。

7月29日、作木支所において、作木自治連合会、上・中・下地区連絡協議会、NPOさくぎ振興会の方にお集まりいただき、連携計画で掲げている作木町域での新たな交通システム「過疎地有償運送」について概要や経過、そして、取り組みについて、ご説明し、参加された皆様のご理解を頂戴しました。

全ての皆さんが、このシステムについて期待できるとのご意見をいただき、前向きに考えていただいております。

現在、来年の導入に向けて、運転手の選任をお願いしているところであり、今後、先進地の視察、ドライバー講習等の準備作業を進めていきます。以上、簡単ではありますが、報告を終わります。

（会長）

はい。事務局より説明いたしました。何かご質問がございますか。

別段無いようですから、協議事項に入ります。(1)「路線バスの変更及び廃止(案)について」、事務局から説明をお願いします。

報告事項

《路線バスの変更及び廃止(案)について》

（事務局）

会議資料の9ページになります。

この件につきましては、以前の交通会議でも少しふれさせていただきました「株式会社中国バス」運行路線であります「田総の里西・太郎丸・上下駅前」線ほか2系統であります。

昨年の12月に庄原市地域公共交通会議で提案、合意されており、関係自治体及び運行事業者との協議のすえ、7月に府中市の協議会でも合意されています。

廃止となる三良坂町域においては、沿線地域である灰塚、沖江地区の代表者、実際にご利用になっている住民の方、また、ふれあいタクシーみらさか利用推進委員会長や運営主体であります三次広域商工会事務局へ状況の説明し、代替交通として「ふれあいタクシーみらさか」をご利用いただくとのことで一定のご理解を頂戴しているところです。

今後、年末を持って廃止となりますが、ふれあいタクシーみらさかの利用状況とあわせて、1年間をかけて追跡調査を行い、ふれあいタクシーみらさかの見直しも含めて関係機関等協議してまいりたいと思います。

なお、太郎丸線は別紙資料5の裏面へ参考資料として平成21年9月、11月の利用状況にも見られますが、朝の田総7時03分発、夕方の上下17時39分に自ら移動手段を持たない方、数名がご利用になっていますので、この路線については府中市の協力も得て、甲奴町太郎丸から上下駅前を折り返す路線に変更し、当分の間、継続する協議が調っています。

続きまして、備北交通株式会社「赤名線」のダイヤ変更についてご説明いたします。

島根県飯南町と協調して運行しています 33.7 キロ程，平日4回，土・日祝日2回運行の赤名線について，土曜便を2回から4回に増便し，利用の少ない日祝日を減便にする提案であります。

変更するダイヤについては「別紙資料6」にお示ししています。運行のなくなる日祝日についての代替交通は，「別紙資料6」の2ページにありますように，一畑バス的高速便が布野町域でのバス停に停車するようになっており，便数も充実しており，利用いただけるのではないかと考えています。

なお，飯南町においては，この変更については，了解済みとお聞きしています。

以上，2路線の廃止も含めた見直しについてご提案させていただきます。よろしく申し上げます。

（会長）

備北交通のほうから補足説明がありますか。

（備北交通）

赤名線は日曜日の利用が非常に少なく，特に島根県内はゼロに近い日もあります。そのため，布野については一畑バスの松江線，出雲線が，また当社においても作木町から三次への便もあることから，利用者が極端に困ることはないとの判断の中で，日祝日を運休し，逆に土曜日を充実させることによって当路線の維持を図るための提案をさせて頂きました。先ほど事務局からもありましたように飯南町でもご了承いただいております，合わせて三次市でも提案させて頂いたものであります。

（委員）

現行の路線は，乗り換え無しに行けるという良さがあるため，中央病院に行く利用者が多いのは確かである。市街地に出る人は，横谷，上布野，下布野などで待たれる人も多い。

ひとつ問題は，そこまで行くのに各バス停で停車しないこと。ただし，利用状況や諸々のことを考えるのに全体的には仕方がないと思っています。

（事務局）

高速バスについては止まらない停留所があるのは確かです。ただし，備北交通でも乗降調査をしており，これを踏まえ，日曜日は利用が非常に少ないという実態からの提案であり，ご理解いただければと考えています。

（会長）

貴重なご意見として頂戴したい。また今後，尾道松江線が開通すると交通環境も大きく変化することだと思います。これらを踏まえ，今回の件はまた改めて検討させて頂き，なおかつ交通会議においても重要な課題として挙げていきたいと思う。

本件について，交通会議としては承認でよいか。

意見が無いようなので承認とさせていただきます。

中国バスの件については，後ほど到着され次第，お話も聞きたいと思っています。それでは，次の協議事項について，事務局より，説明願います。

《三次市民バスの一部変更（案）について》

（事務局）

会議資料にお示ししていますように三次市民バス吉舎町線のAコースについて、朝、町の中心にあります保健センターを7時50分に出発し、病院を経由して蜂郷集会所へ、また蜂郷集会所から病院、保健センターといった路線であります。現状では、蜂郷集会所に向けての利用はなく、非効率な路線設定となっているため、この間を回送とし、蜂郷集会所を8時10分始発とするダイヤに変更するものです。

この運行を委託している十番交通さんにもご了解をいただいております。

以上、簡単であります。説明とします。

（会長）

三次市民バス吉舎町線の見直しについて、事務局から説明がございました。

何か意見・質問等ありますでしょうか。

連携計画にもありますように、三次市民バスについては、今後、現状にあわせた見直しを進めていくことにしています。いかがでしょうか。

それでは、今、提案させていただきました3路線については、了承されたものとさせていただきます。

（委員）

了承

（会長）

はい。ありがとうございます。それでは、3 その他について説明願います。

（事務局）

それでは、会議資料の11ページ、鉄道関係の取り組みについて、状況を説明させていただきます。

まずは、芸備線対策協議会ではありますが、前回の交通会議で「平成22年度 県立広島大学地域課題解決研究」として「三次市を中心としたローカル線の利用促進に関する研究」と題して応募しましたが、結局のところ採択されませんでした。

どちらかと言うと大学関係者側からのアプローチであったことから、採択されるものと思っておりましたが、このような結果になり、事務局としても非常に残念だと思っています。

続きまして、三江線活性化協議会ではありますが、資料にお示ししていますように、8月3日の協議会分科会で住民アンケートやヒアリングを行うこととなり、本市においては、作木町全戸に対し、9月の広報紙と一緒に調査票が配布されます。また、利用者を中心としたヒアリングについても作木町にて実施される予定であり、人選等につきましては、作木支所を中心に自治連合会と調整されています。

以上、簡単ではありますが鉄軌道に関する取り組みについてご説明しました。

(委員)

三江線の協議会では、三次市はどのように係わっておられるのですか。

(事務局)

活性化協議会メンバーとして利用者代表としてお願いしている作木町自治連合会会長とともに参画しています。

今年度、当協議会では国の補助を受けて計画策定を行います。その調査の中で、市内でのアンケートや意見交換会などを作木支所と一緒に取り組んでいくことにしています。

(委員)

当協議会の事務局はどこですか。

(事務局)

邑智郡町村会の事務局です。事務所は川本町にあります。

今年度はJRを借り上げてのモニターツアーの実施が決まっており、自治組織等と連携して活性化に繋がるような取り組みを考えているところであります。

(委員)

連携計画なので、鉄道だけではなく、バスなどとの連携を視野に入れることが必要だと思います。それぞれ別々に運営する側面があるため、トータルで考える視点を三次市から積極的に提案して頂きたい。

(事務局)

市民バス等も同様ですが、JRとの結節を良くすることは非常に重要だと認識しています。協議会で意見を出していきたいと思います。

(会長)

他にないかありますか。全体的なことでも構いません。

(委員)

甲奴三次線の甲奴2時発便は利用者にとって時間帯が悪いため、利用者も少ないのではないかと思います。13時発であるとか、もっと早くできないだろうか。

(事務局)

当該路線は、吉舎三次線とリンクさせて運行しています。経費面や色々と考えた中で、運転手や車両を両路線で上手く連動させていますので、甲奴三次線だけの時間を大幅に変更することは現行のダイヤ編成では困難です。ご理解を頂戴したいと思います。

(委員)

現在、バス停の位置が非常に分かりにくい。市街地循環バスの導入の際は、変わったバス停など工夫を凝らすべきではないでしょうか。

(事務局)

デザインも変更予定であり、さらに分かりやすい位置、目立つものを設置したいと考えています。停留所名などは利用者に分かりやすいようにと今回、何箇所か変更するなどする予定です。

(委員)

大竹市では、広報にかなりチカラを入れてやっている。当市でも是非、広報を充実させて頂きたい。経路や運賃が変わったりするので、住民や利用者に齟齬が無いようにということも含めてお願いしたい。ロゴマークをいろんな場面で活用していくことも良いと思う。

また、補助の枠組みに関して、総合事業は今年度で終わりであり、次年度からの交通基本法を睨んでということですが、補助事業の枠組みが変わってきます。

今継続している事業は優先されると考えますが、不確定の状況であります。

情報が入り次第ご報告させていただきますので、よろしくをお願いします。

(委員)

太郎丸線については、利用者を含めて話をしたということですか。

(事務局)

太郎丸線については、庄原市(総領町)域は廃止となりますが、現行、市域でご利用いただいている通勤等については支障がないと考えておりますし、そのような路線設置を府中市の協力も得ながら行っています。

三良坂町域につきましては、先ほどご説明しましたように地域の方や実際にご利用いただいている方などに直接お話をしています。

(委員)

この路線ですが、府中市の協議会においては、中国バスは委員として出席されており、その中で協議され、合意に至っていることを再度申し上げます。

(会長)

それでは、意見も出尽くしたようでありますので、会議のほうを終了させていただきたいと思いますが、事務局より何か連絡事項等ありますか。

(事務局)

前回会議において三次駅周辺整備の状況説明が求められております。この内容については、次回の

会議で建設部長のほうからご説明いただきたいと思いますので、ご了承ください。

以上であります。

(会長)

はい。それでは、ご質問も無いようですので、会議のほう終了させていただきたいと思います。

一方的な提案で、一方的に進めさせていただいたような気がしますが、委員の皆様方のご理解はいただけたものと思っています。

今日提案させていただいた内容については、関係機関のご意見を頂戴したり、協議させていただいたものであります。また、報告事項の市街地の循環バスにつきましても、分科会において地域の住民の方のご意見をいただきながら進めてきたものであります。

いよいよ来月の2日から運行開始となります。委員の皆さまにはあらためて出発式等のご案内をさせていただくことになるかと思えます。皆さま大変ご多忙だと存じますが、都合等がつかましたら、出席賜れば幸いです。

冒頭にお話のありましたように、運行するからには多くの皆さまにご利用いただかなくてはなりませんので、周知に係る部分はこれから徹底していかなければなりません。

また、運行いただきます備北交通さんも、10月2日に向けて手続きや準備等よろしく願い申し上げます。今日の会議を終了したいと思います。本日はどうもありがとうございました。